

観光政策学

～政策展開における観光基本法の指針性及び観光関係法制度の規範性に関する研究～

序文

本論文は、筆者が2006年6月12日に立教大学へ提出した博士学位申請論文「政策展開における観光基本法の指針性及び観光関係法制度の規範性に関する研究」である。2007年10月に上梓するにあたり、横書きを縦書きにすることに伴う変更点以外には、論文の内容及び構成には一切、手を入れていない。

筆者は本論文により、2007年9月に立教大学から「博士(観光学)」を授与された。あらためて、本論文の執筆に際し、お世話になった関係者に熱く御礼を申し上げたい。

本論文は、筆者が立教大学観光学部において観光政策・行政論の講義、高崎経済大学地域政策学部において観光政策論の講義を行うにあたって使用した「観光政策・制度入門」を基礎として博士学位申請論文として発展させたものであり、本論文を出版するにあたっては書名を「観光政策学」とさせていただいた。

本書の出版にあたっては、筆者が奉職する高崎経済大学の学術研究図書観光助成金の助成を受けさせていただいたことに感謝を申し上げる。

2007年10月

高崎経済大学地域政策学部教授

博士(観光学 立教大学) 寺前秀一